

# 甲突川

こう つき がわ



甲突川源流（甲突池）



「甲突池」は平成の名水百選に認定され、親水公園として整備されています。まわりには広大な棚田が広がっています。

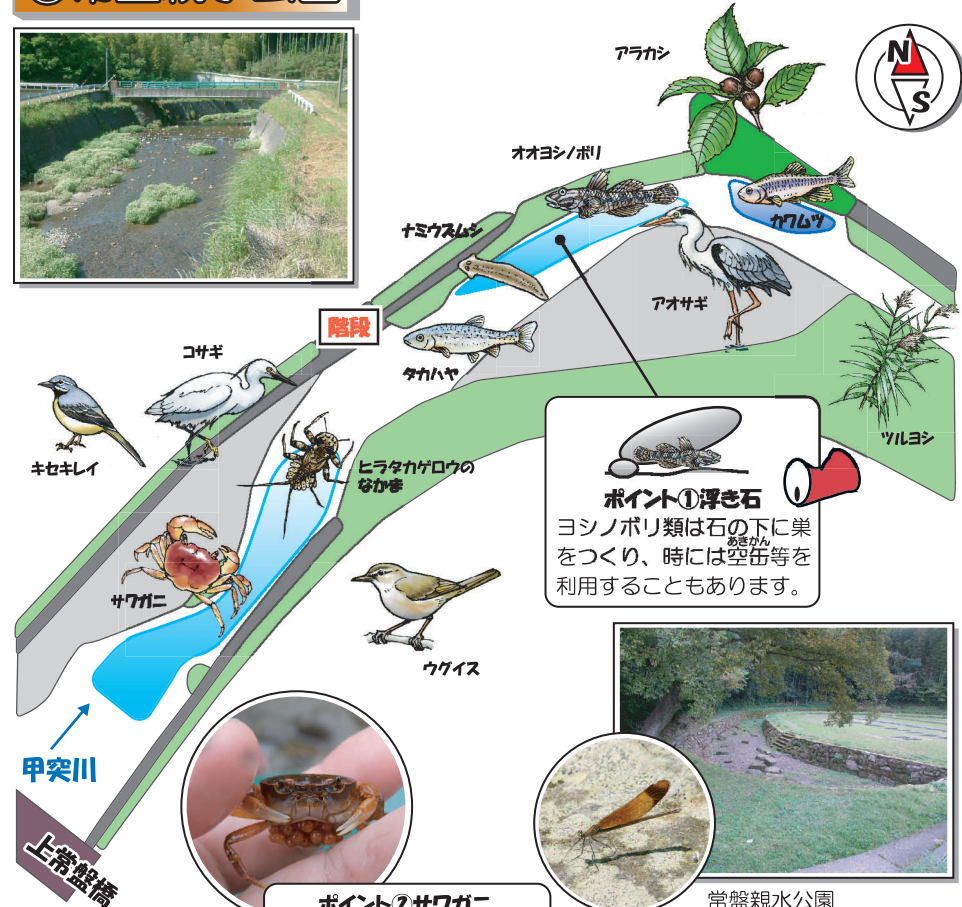
## 甲突川データ

- 源流：郡山町（八重山）
- 長さ：約23.5km
- どこを流れているの？  
郡山町、小山田町、伊敷町、甲突町など

甲突川は薩摩川内市との境にある「八重山」から流れ出て、主に市内の中心部を流れ、鹿児島湾にそそぎます。甲突川には3つの浄水場・取水場があり、市民の水がめとして広く活用されています。また河頭付近では水力発電も行われています。

## ③常盤親水公園

凡例	早瀬	淵	止水
草地	樹林	裸地	構造物



**ポイント①浮き石**  
ヨシノボリ類は石の下に巣をつくり、時には空缶等を利用することもあります。

**ポイント②サワガニ**  
きれいな水にいます。心化するまで卵を守ります。

常盤親水公園  
日本のカワトンボのなかまでは最大のミヤマカワトンボが確認されました。

## ● 常盤親水公園付近の環境について（甲突川上流）

のどかな田園地帯を流れ、一部自然河岸も残されています。巨石の間には溪流に多いサワガニやカゲロウ類が見られ、水際のツルヨシ群落には冷水性のタカハヤがいます。早瀬ではオオヨシノボリが確認されており、産卵場として利用されている可能性が考えられます。



こがしらちゅうまえ  
④河頭中前

凡例	早瀬	淵	止水
草地	樹林	裸地	構造物



**ポイント①河原**  
砂地は、カメ類が産卵に利用します。



**ポイント②オオカナダモ群落**  
稚魚やエビ・カニ類のかくれ家として利用されます。

**ポイント③ナマス**  
大型魚が見られるのは、たくさんエサ(小魚など)があるということです。

●河頭中前の環境について(甲突川中流)

全体的に深く、水深2.0mをこえる淵が見られます。その他早瀬や溜まり、沈水植物群落など、水域の環境の多様性が特徴です。タカハヤ、ナマス、ゴクラクハゼなど、上・中・下流域の魚類が見られます。また毎年甲突川漁業協同組合によるアユの放流事業が行われており、アユ釣りが盛んな地域です。

かごしま  
⑤鹿児島アリーナ前

凡例	早瀬	淵	止水
草地	樹林	裸地	構造物



**ポイント②メダカの生息**  
水際のツルヨシ群落が利用されています。本来は水田や小川に生息します。



**ポイント①浅い水深**  
魚をエサとする鳥類(ミサゴなど)が、ボラなどを確認しやすい。

**ポイント③橋下の淵**  
まわりが浅いため、コイやスズキなどの大型魚類が利用します。

●鹿児島アリーナ前の環境について(甲突川下流)

全体的に浅く、流れはゆるやかです。橋の下の淵には、コイやスズキなど大型の魚類が潜んでいます。水際のツルヨシ群落は、稚魚やヌマエビ類のかくれ家のほか、洪水時の避難場所としても利用されていると考えられます。散策路を中心に、多くの市民に利用されています。

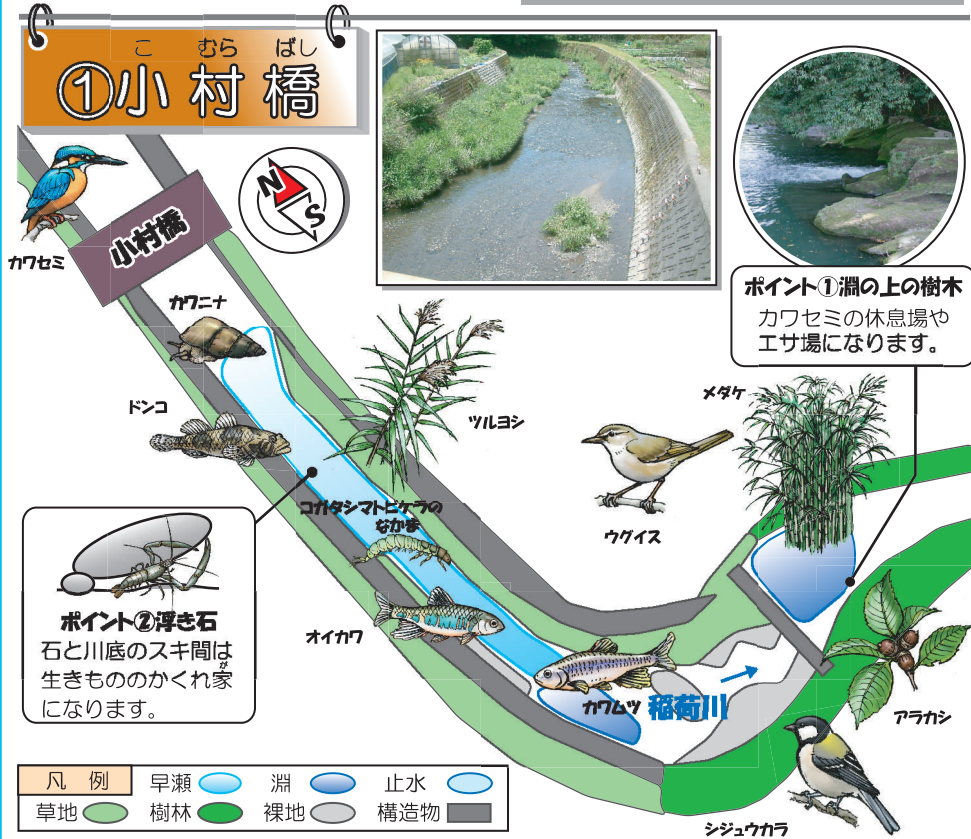


# 稲荷川

いな い がわ



## ①小村橋



### ● 小村橋付近の環境について (稲荷川中流)

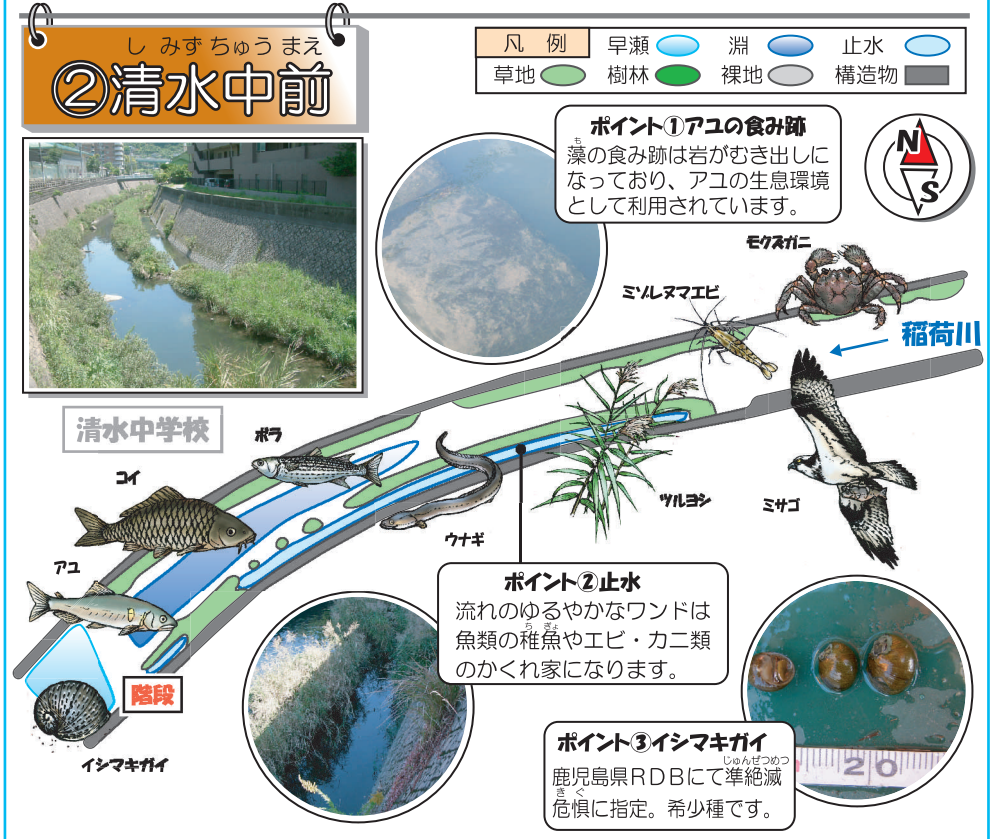
早瀬や淵、水際植物（ツルヨシ群落など）がバランス良く見られます。早瀬は底生動物やオイカワ、淵はカワムツ、水際は稚魚やエビ・カニ類など、それぞれの生態に合った環境に生息しています。川岸の樹木や草は、カワセミの休息や狩りに利用されているようです。

## 稲荷川データ

- 源流: 宮之浦町
- 長さ: 約14.6km
- どこを流れているの?  
宮之浦町、川上町、坂元町、稲荷町など

稲荷川は、鹿児島市の北、宮之浦町から流れ出る2級河川です。主に田園地帯を流れ、滝之神浄水場で一部取水された後、鹿児島湾にそそぎます。上流の倉谷地区は豊富な湧き水があり、まわりはホタルの群生地として知られています。

## ②清水中前



### ● 清水中前の環境について (稲荷川下流)

河口が近いので、汽水域に多いイシマキガイやボラが確認されています。巨石やツルヨシ群落による止水域は、外敵の多いテナガエビ類やヌマエビ類のかくれ家として重要です。なお巨石には、アユの食み跡がついており、アユの良好な生息環境としても評価できます。